

学校点描

1 学年、2 学年では雪に親しむ会が始まりました。本校ならではの行事、将来、きっと役に立ちます。

《M中学校》

NO. 11 H28. 1. 29

担当：教頭

スキー部から全国大会出場のために、昨日無事に北海道に到着したという連絡がありました。みんな元気で大会に臨む準備をしているようです。スキー部引率のために、体育科の J 先生や C 先生が不在になります。そこで、1 年生と 2 年生の体育の授業は、剣道を学習してもらっています。外部から専門家を招聘して剣道を通して武道の精神を学んでもらっています。

養護教諭の H 先生が 1 年間かけて『特別支援教育上級講座』を受講して、この度全単位を取得されました。これによって“特別支援教育スペシャルコーディネーター”という立場になりました。単位を取得するために、数多くのレポートや発表で、日頃から先生ご自身相当な勉強をしていました。生徒に言う前に、大人自身、我々教師自身が、“良き学び手”となることが問われています。

子どもの読書量は、保護者の読書量と相関があるといわれています。スマホの Line における、書き込みによるいじめ、問題ある画像の転送などは、大人自身が Line や SNS のメリットとデメリットを知っていないからです。

諸外国の大人に比べて、日本の大人は読書量も科学的な関心も大きく水をあけられて低いという結果です。

ボール回し

昨日は 3A の終わりの会に行きました。担任の K 先生や、3 学年担当の先生方が出張でいなかったからの代役です。終わりの会はドンドン進行してあっという間に「先生の話」のプログラムになります。「何を話そうかな？」と考えて、ふと後の壁を見ると、『One for ALL ALL for One』（一人はみんなのために、みんなは一人のために）という横断幕が貼られていることに気づいたので、それに関係する話をしました。One for all・・・は、「ラグビー競技でよく使われることばですよ」、なんて話を始めました。みんなしっかり話を聞いてくれます。



今日、朝学校に出勤すると、玄関に『明日！受験！内履き持ち帰り』という張り紙が貼られていました。明日は、多数の生徒が私立高校の入試に向かうため、忘れないように、3 学年の先生方が貼ったようです。「たかだか内履きぐらい忘れても」と思うかもしれませんが、ちょっとしたことで不安感や緊張感が募るものです。万全で臨んで欲しいという願いです。

通勤の途中聞いていたラジオのある話題です。ある埼玉の中学 3 年生のクラスのことでした。

推薦入試を受けるA子さんにとって、いよいよ明日が受験となりました。不吉な知らせは、この時からあったのでしょうか、美術の時間に内ズックにたっぷりと絵の具を落としてしまいました。ズックの紐も、切れかかっていたので、どうせ家に帰って、明日の受験のために整えようと思っていた矢先です。授業中であったのですが、担任の先生が入室してきて、Aさんをいつもかわいがってくれていた新潟のおじいちゃんが亡くなったという連絡をしました。

気もそぞろに、飛んで家に帰って、両親といっしょに新潟に向かったのです。

その夜、Aさんから担任の先生に電話が来ました。新潟にいるAさんは、少々パニックになっているようです。

「先生、わたし、明日の受験にまっすぐ新潟から向かおうと思っていたのですが、内ズックを忘れてしまいました。どうしたらいいのでしょうか・・・。」

おじいちゃんの不幸とも重なり、Aさんは、もうどうしたらよいか、電話口には動揺の声が響きます。

「ズックぐらい忘れても大丈夫だよ。どうしてもというのなら、明日の朝、受験開始まで届けるから」と、担任の先生は励まします。

「先生、私のズック、汚れたままなのです。紐も切れかかっているし、一生に一度の受験なのに・・・。」

「ズックがなくても、受験校の先生に言えばスリッパ借りれるから。」と、先生は、Aさんを落ち着けようと一生懸命でした。

次の日。

できる限り、平静に受験させてあげようと、先生は、朝、真っ先に教室に向かいました。

すると、教室のストーブの前に、一足の真っ白な内ズックが置かれているのです。

「これ、どうしたの？」担任の先生は、近くにいた、女子生徒に尋ねます。

「先生、A子ちゃん今日、入試でしょ。昨日、帰る時、ズックが残っていたから、Yちゃんと右、左分担して、家で洗ってきてあげたの。今、ズック乾かしてるよ。」

「ズックの紐は？」と、先生。

「紐はね、もう私立校で合格したRちゃんが、貸してあげるっていっていたから、借りたよ。縁起いいでしょ。」

その後、先生は、急いで真っ白なズックを抱えて、高校を向かいました。

Aさんの受験の影には、こんな友人たちの心が重なり合っていたのです。

ラグビーっていう競技は面白いスポーツで、「ゴール」という言葉は使いません。「トライ」なんです。ボールを後に後にパスしながら、みんなでボールを運ぶルール。だから、**One for all**・・・なんですね。

終わりの会終了後、「Hさん、これから面接練習なの？がんばって」という言葉をかけ合っています。廊下では「受験まで、まだ1ヶ月もある」と言っている男子生徒に、「もう一ヶ月でしょ」とはっぱを入れる女子生徒。

教室のあっちこっちで、一人ひとりのトライに向けて、全員がボール回しをしています。

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。

Shinyatk1616n@yahoo.co.jp